

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー : 労働法 ILAS Seminar : Employment Law	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, OBATA FUMIKO		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Mon.5
Classroom	1103, Faculty of Integrated Human Studies			Language of instruction	Japanese
Keyword	労働法 / 労働環境 / 雇用社会 / 企業秩序				
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)					
[Overview and purpose of the course]					
<p>授業回数はフィードバックを含め全15回です。 15回の授業の中で、新聞等で報道されている、または職場で身近に起こる、雇用や労働に関する法律問題を10項目程度取り上げます。 毎回のテーマにつき、担当者(担当グループ)による発表と、それに基づく全員でのディスカッションをしてもらい、各テーマについての知識を深め自分の意見を説得力を持って主張できるようになること、そして自分の担当したテーマにつき深く掘り下げて準備し、聞き手に分かりやすく効果的なプレゼンテーションをする訓練を積んでもらいたいと考えています。</p>					
[Course objectives]					
わが国の雇用社会で起こっている問題を深く理解し、ディスカッションを通じて、それに関する自分の考えを明確にする。社会問題に関する概略と問題の所在を聞き手にわかりやすく正確に伝え、また、議論の整理とまとめができるようになる。					
[Course schedule and contents]					
<p>授業回数はフィードバックを含め全15回です。 15回の授業でどのようなテーマを取り上げるかは、初回に受講生の希望を聞いて決める予定です。 例としては、以下のようなものが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 採用・就職活動 ・ 配転・出向 ・ 労働時間 ・ 年次有給休暇 ・ ブラック企業 ・ 育児休業・介護休業 ・ パワー・ハラスメント ・ 最低賃金 ・ 障害者雇用 ・ 職務発明 ・ 過労死・過労自殺 					
Continue to ILASセミナー : 労働法(2)					

ILASセミナー : 労働法(2)

その他の回には、評価が分かれている判決を解説し、それにつき全員で議論したり、またスピーチの練習をする等の内容を予定しています。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点 (プレゼンテーションのできばえ50点、授業内での発言50点)

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

グループ・プレゼンテーションを成功させるためには、個人での準備と共に、グループメンバー全員で集まって打合せをすることが必要です。グループ全体での準備に積極的に参加し、分かりやすく魅力のあるプレゼンテーションを協力して作り上げてください。個人で発表する場合には、テーマに関する情報を幅広く集め、多様な視点から検討し、その上でまとまりのあるプレゼンテーションをするよう心掛けてください。

[Other information (office hours, etc.)]

他の発表者 (発表グループ) の発表担当の回には、プレゼンテーションを聞いた後、積極的にディスカッションに参加してください。相談があれば、授業の前後でもそれ以外の約束した日時にも乗りますので、申し出てください。

火曜12時40分～